

北本市人事行政の運営等の状況を公表します（平成23年3月）

北本市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、市職員の給与や勤務条件の状況などの人事行政のあらましをお知らせします。

目次

第1 職員の任命及び職員数に関する状況

- 1 新規採用の状況
- 2 再任用の状況
- 3 退職の状況
- 4 一般行政職の級別職員数の状況
 - (1) 一般行政職の級別職員数の状況
 - (2) 昇給への勤務成績の反映状況
- 5 部門別職員数の状況と主な増減理由
- 6 年齢別職員構成の状況
- 7 定員管理の推移

第2 職員の給与の状況

- 1 総括
 - (1) 人件費の状況(普通会計決算)
 - (2) 職員給与費の状況(普通会計決算)
 - (3) ラスパイレス指数の状況
- 2 一般行政職給料表の状況
- 3 職員の平均給与月額、初任給等の状況
 - (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況
 - ① 一般行政職
 - ② 技能労務職
 - (2) 職員の初任給の状況
 - (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況
- 4 職員手当の状況
 - (1) 期末手当・勤勉手当
 - (2) 退職手当
 - (3) 地域手当
 - (4) 特殊勤務手当
 - (5) 時間外勤務手当
 - (6) その他の手当
- 5 特別職の報酬等の状況

第3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

- 1 1週間の勤務時間数
- 2 休暇制度の概要・種類等
- 3 年次有給休暇の取得状況
- 4 育児休業等の取得状況
- 5 時間外勤務の状況

第4 職員の分限及び懲戒処分の状況

第5 職員の服務の状況

- 1 職務専念義務免除の状況
- 2 営利企業等従事の許可状況

第6 職員の研修及び勤務成績の評定の方法

- 1 研修の概要
- 2 職員の勤務成績の評定方法

第7 職員の福祉及び利益の保護の状況

- 1 福利厚生制度の状況
- 2 公務災害の発生状況

第8 公平委員会からの報告

- 1 勤務条件に関する措置の要求の状況
- 2 不利益処分に関する不服申立ての状況

第1 職員の任命及び職員数に関する状況

1 新規採用の状況（平成21年度）

区分	男性	女性	合計
一般事務	6人	6人	12人
技術職	2人	0人	2人
保育士	1人	4人	5人
計	9人	10人	19人

2 再任用の状況（平成21年度）

再任用職員とは、高齢者雇用の推進等のため定年退職者等のうち、あらためて採用される職員で、地方公務員法第28条の4の規定により採用されるフルタイム職員と同法第28条の5の規定により採用される短時間勤務職員がいます。

区分	フルタイム職員	短時間勤務職員
人数	2人	11人

3 退職の状況（平成21年度）

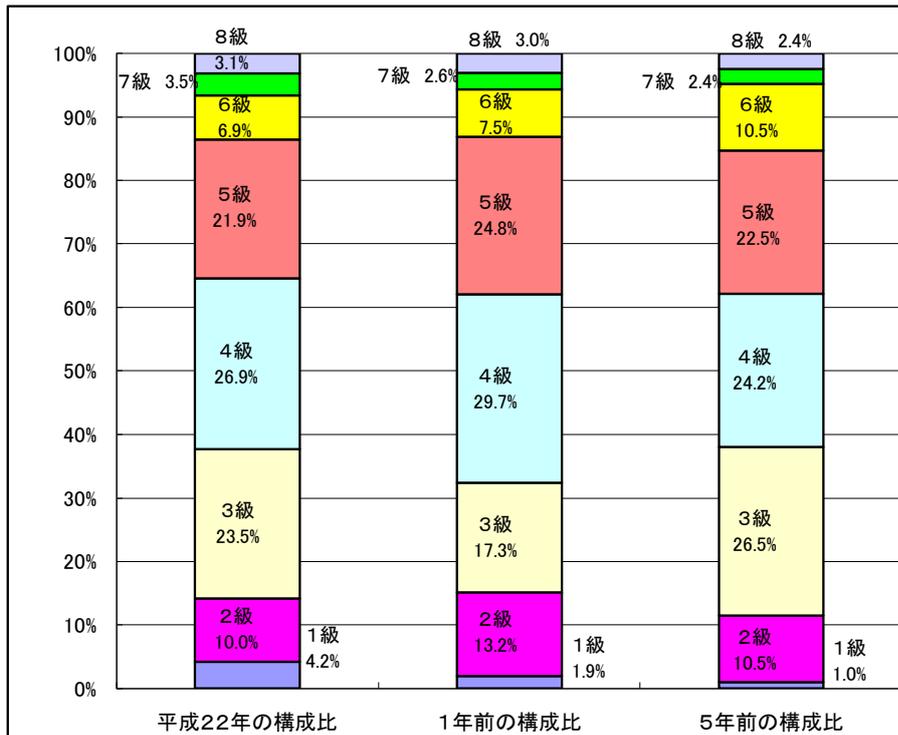
区分	男性	女性	合計
定年退職	12人	6人	18人
勸奨退職	2人	4人	6人
自己都合退職	3人	2人	5人
その他	0人	0人	0人
計	17人	12人	29人

4 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(平成22年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
8級	部長	8人	3.1%
7級	副部長	9人	3.5%
6級	課長	18人	6.9%
5級	主幹	57人	21.9%
4級	主査	70人	26.9%
3級	主任	61人	23.5%
2級	主事	26人	10.0%
1級	主事補	11人	4.2%
	計	260人	100.0%

- (注) 1 北本市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

- 勤務成績の評定の実施状況
地方公務員法第40条に基づき、全職員に対して勤務成績の評定を実施。
- 昇給への勤務成績の反映状況
勤務成績の評定結果を昇給に反映していませんが、北本市職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規則第31条に基づき実施した勤務成績の証明により昇給の号給数に差を設けています。

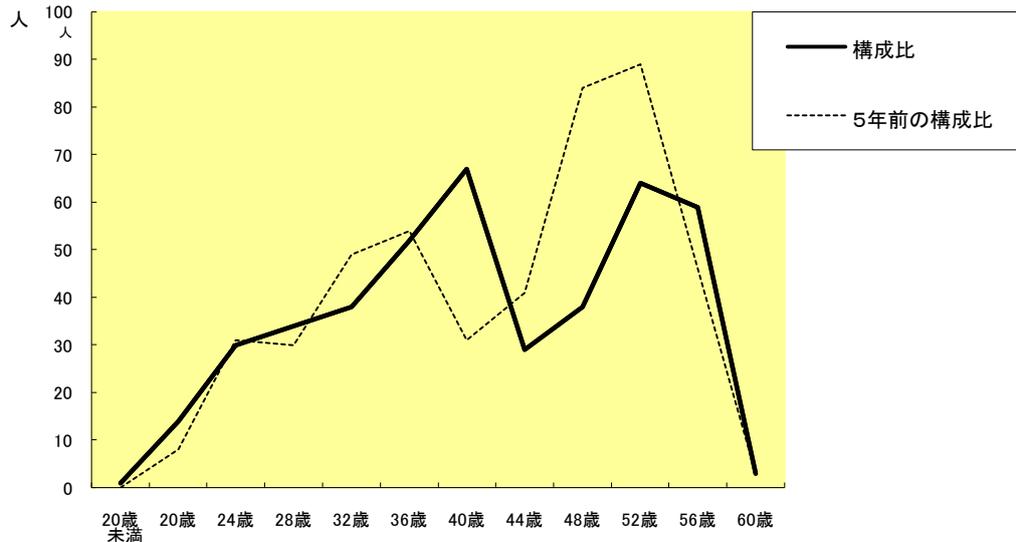
5 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部門	区分	職員数		対前年増減数	主な増減理由	
		平成21年	平成22年			
普通会計部門	一般行政部門	議会	5人	5人	0人	事務の統廃合縮小 業務増 退職不補充 事務の統廃合縮小 業務増 事務の民間等委託 業務増
		総務	88人	84人	-4人	
		税務	28人	29人	1人	
		労働	0人	0人	0人	
		農林水産	5人	4人	-1人	
		商工	6人	4人	-2人	
		土木	39人	43人	4人	
		民生	114人	112人	-2人	
	衛生	30人	32人	2人		
		計	315人	313人	-2人	<参考> 人口1万人当たりの職員数 44.63人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 58.24人)
	教育部門	88人	86人	-2人	事務の民間等委託	
	小計	403人	399人	-4人	<参考> 人口1万人当たりの職員数 56.89人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 79.36人)	
等会公 部業営 門計企	下水道	7人	7人	0人	業務増	
	その他	22人	23人	1人		
	小計	29人	30人	1人		
合計		432人 [504]	429人 [504]	-3人	<参考> 人口1万人当たりの職員数 61.17人	

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。
2 []内は、条例定数の合計です。

6 年齢別職員構成の状況（平成22年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	1人	14人	30人	34人	38人	52人	67人	29人	38人	64人	59人	3人	429人

7 職員数の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	337	330	331	324	315	313	△24 (92.9%)
教育	104	98	94	94	88	86	△18 (82.7%)
公営企業等会計	25	24	25	27	29	30	5 (120.0%)
総合計	466	452	450	445	432	429	△37 (92.1%)

(注) 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

第2 職員の給与の状況

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (21年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 20年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
21年度	70,279	17,321,189	845,670	3,997,202	23.1	25.4

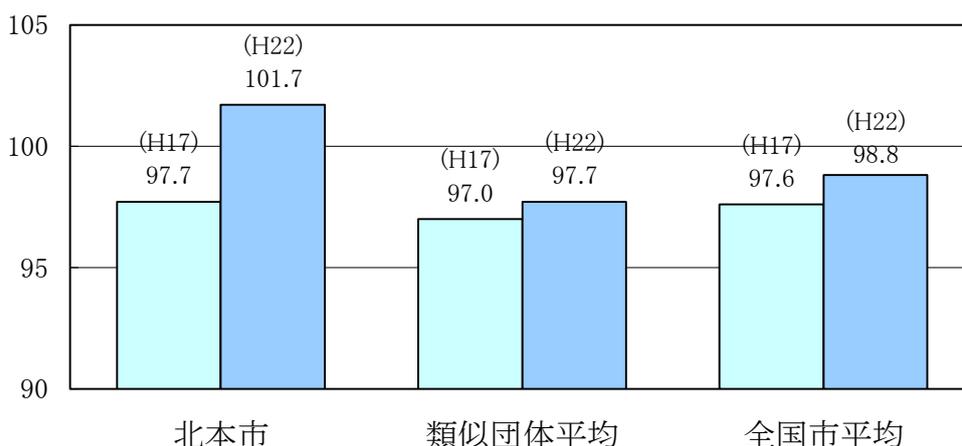
(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与			計 B	一人当たり 給与費 B/A	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当			
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円
21年度	402	1,770,562	224,076	652,619	2,647,257	6,585	6,119

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。

2 職員数は、21年4月1日現在の人数です。

(3) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

2 一般行政職給料表の状況（平成22年4月1日現在）

(単位：円)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
1号給の給料月額	144,500	172,200	222,900	261,900	289,200	320,600	366,200	413,700
最高号給の給料月額	243,700	304,000	361,700	408,000	423,800	453,700	471,100	510,100

3 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成22年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
北本市	43.9 歳	349,547 円	419,423 円	393,371 円
埼玉県	43.7 歳	339,950 円	424,247 円	381,330 円
国	41.9 歳	325,579 円	—	395,666 円
類似団体	43.8 歳	335,606 円	394,618 円	366,140 円

②技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
北本市	50.7 歳	286,536 円	311,809 円
国	49.3 歳	284,514 円	322,291 円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、平成22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。
 また、「平均給与月額(国ベース)」は、国家公務員の平均給与月額には、時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況 (平成22年4月1日現在)

区 分		北本市	埼玉県	国
一般行政職	大学卒	178,800円	178,800円	172,200円
	高校卒	149,800円	144,500円	140,100円
技能職	高校卒	157,600円	-円	-円
	中学卒	-円	-円	-円
労務職	高校卒	146,900円	-円	-円
	中学卒	-円	-円	-円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況 (平成22年4月1日現在)

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	271,400円	325,500円	356,644円
	高校卒	231,100円	300,850円	327,980円
技能職	高校卒	-円	-円	-円
	中学卒	-円	-円	-円
労務職	高校卒	208,100円	247,300円	284,850円
	中学卒	-円	-円	-円

4 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

北本市		埼玉県		国	
1人当たり平均支給額(21年度) 1,520千円		1人当たり平均支給額(21年度) 1,790千円		-	
(21年度支給割合) 期末手当 2.75月分 勤勉手当 1.40月分 (1.50)月分 (0.70)月分		(21年度支給割合) 期末手当 2.75月分 勤勉手当 1.40月分 (1.50)月分 (0.70)月分		(21年度支給割合) 期末手当 2.75月分 勤勉手当 1.40月分 (1.50)月分 (0.70)月分	
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 20~25%		(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5~20% ・管理職加算 10~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

(2) 退職手当 (平成22年4月1日現在)

北本市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	勤続20年	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	勤続25年	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	勤続35年	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	最高限度額	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置:2%~10%加算			その他の加算措置 ・定年前早期退職特例措置:2%~20%加算		
1人当たり平均支給額(21年度退職者) 20,830千円 25,551千円					

(3) 地域手当 (平成22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		94,962 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		220,329 円	
支給対象地域	支給率	支給対象職員数	国の制度(支給率)
市内全域	3 %	431 人	3 %

(4) 特殊勤務手当 (平成22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)		3,203 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)		30,795 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(21年度)		24.1 %		
手当の種類(手当数)		5種類		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価	
感染症防疫作業手当	右の支給対象業務に従事した職員	法定感染症患者の救護収容及び消毒牛、豚、鶏の感染症に対する防疫作業	日額500円	
行旅病人、同死亡人、変死人取扱手当	福祉事務所現業職員	行旅病人の収容	1人2,000円	
		行旅死亡人、変死人の収容	1体4,000円	
保健福祉業務手当	福祉事務所現業職員	地区担当員として現業の事務又は査察指導	月額3,000円	
		心身障害児通園訓練施設職員	心身障害児の指導、保育	月額2,000円
		保育職員	保育業務	月額2,000円
		保健師、看護師、理学療法士職員	保健、看護、理学療法業務	月額3,000円
現場業務手当	労務職員	ごみ、汚でい等の収集	月額1,800円	
		右の支給対象業務に従事した職員	公園の現場業務(ごみの収集等)、マンホール又は下水道の維持管理及び境界査定現場業務に3時間以上従事	日額300円
廃棄物処理業務手当	労務職員	一般廃棄物一時保管場で廃棄物の分別業務に3時間以上従事	日額250円	
		犬、猫等の死体処理	1件200円	

(5) 時間外勤務手当 (平成22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)	81,032 千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	247 千円
支給実績(20年度決算)	87,936 千円
職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)	279 千円

* 休日勤務手当が含まれています。

(6) その他の手当 (平成22年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(21年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)
扶養手当	扶養親族のある職員に支給 配偶者 13,000円 配偶者以外各6,500円 (配偶者がない場合は、1人は11,000円) 子(16歳年度初め～22歳年度末)加算5,000円	同		48,941千円	256,235円
住居手当	借家等居住職員(月額15,000円を超える家賃を支払っている職員)に支給 最高 27,000円 自宅居住職員(世帯主)に支給 2,500円	異	自宅居住職員の支給額	26,670千円	11,113円
通勤手当	交通機関(電車等)利用者 ・運賃相当額(原則6ヵ月定期券価額、上限55,000円) 交通用具(自動車等)利用者 ・通勤距離が片道2km以上である職員で、距離に応じた額(2,000円～24,500円)	同		21,760千円	70,420円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員に職務の級に応じた額支給(40,000円～70,000円)	—	—	67,850千円	542,800円

5 特別職の報酬等の状況(平成22年4月1日現在)

区 分		給 料	月 額	等
給料	市 長	902,000 円	(参考)類似団体における最高/最低値	
	副 市 長	762,000 円	992,000円 / 500,000円	804,000円 / 395,000円
報酬	議 長	429,000 円	690,000円 / 359,000円	
	副 議 長	369,000 円	620,000円 / 295,000円	
	議 員	352,000 円	560,000円 / 267,600円	
期末手当	市 長 副 市 長	(21年度支給割合) 4.15 月分 加算措置:給料月額に20%を乗じて得た額が支給基礎額に加算されます。		
	議 長 副 議 長 常任委員長 議会運営委員長 議 員	(21年度支給割合) 3.95 月分 加算措置:報酬月額に20%を乗じて得た額が支給基礎額に加算されます。		
退職手当	市 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 市 長	給料月額×在職月数×35%×115%	1,743万円	任期ごと
	備 考	給料月額×在職月数×21%×115%	883万円	任期ごと
	備 考	埼玉県から派遣されている副市長については、退職手当の支払はありません。		

(注) 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

第3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

1 1週間の勤務時間数

職員の勤務時間は、1週間あたり38時間45分と定められていて、原則毎週月曜日から金曜日までの、それぞれ午前8時30分から午後5時15分までの勤務です(保育所、公民館及び図書館を除きます)。そのうち、正午から午後1時までの間は休憩時間です。

2 休暇制度の概要・種類等

<年次有給休暇> 条例の規定により与えられる有給による休暇で、1年度につき最高20日間付与され、前年度からの繰越分を含めると最高40日間となります。
 <病気休暇> 勤労意欲があっても負傷又は疾病のために勤務することができない職員に対し、医師の証明等に基づき、最小限度必要と認められる期間、その治療に専念させる目的で設けられた有給の休暇です。
 <特別休暇> 特別の事由により職員が勤務しないことが相当である場合に認められる有給の休暇です。
 <介護休暇> 職員が配偶者、父母、子、配偶者の父母などの親族で負傷、疾病または老齢により2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障がある者の介護をするため、勤務しないことが相当であると認められる場合における無給の休暇です。

3 年次有給休暇の取得状況

平成21年4月1日から平成22年3月31日までの年次有給休暇の平均取得日数は、11.3日です。

4 育児休業等の取得状況

(1) 育児休業

育児休業とは、職員が任命権者の承認を受けて、その3歳に満たない子を養育するため、子が3歳に達する日までの期間を限度として、職務に従事しないことを可能とする制度です。なお、育児休業を取得している期間の給与は支給されません。平成21年度に育児休業を新規に取得した職員は13人で、平成20年度から引き続き育児休業を取得した職員は9人でした。

(2) 部分休業

部分休業とは、職員が任命権者の承認を受けて、小学校就学前の子を養育するため1日の勤務時間の一部(2時間を限度)について勤務しない制度で、休業した期間の給与は減額されます。平成21年度に部分休業を新規に取得した職員はありませんでした。平成20年度から引き続き部分休業を取得した職員は2人でした。

5 時間外勤務の状況

平成21年度における職員1人当たり平均時間外勤務時間は、108.6時間/年です。

第4 職員の分限及び懲戒処分の状況

平成21年度に、分限処分を受けた職員は6人(休職)で、処分事由は、疾病加療のため長期休養を要するものでした。

平成21年度に、懲戒処分を受けた職員は1人(戒告)で、処分事由は、職務上の義務違反でした。

第5 職員のサービスの状況

1 職務専念義務免除の状況

職員は、法律または条例に特別の定めがある場合のほかは、その勤務時間および職務上の注意力のすべてをその職責遂行のために用いなければなりません(地方公務員法第35条)。ただし、「北本市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例」により、研修を受ける場合や厚生事業に参加する場合に、任命権者の承認を得て、職務専念義務が免除されることがあります。

平成21年度における承認件数は、厚生に関する計画の実施に参加、389件となっています。

2 営利企業等従事の許可状況

職員は、任命権者の許可を受けなければ、営利を目的とする会社等の役員を兼ねたり、報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事等してはならないとされています(地方公務員法第38条)。

平成21年度に許可した件数は11件(消防団参加3件、交通指導員8件、統計調査指導員3件)となっています。

第6 職員の研修及び勤務成績の評定の方法

1 研修の概要

区分	受験者数	研修日時
派遣研修	92人	延べ238日
共同研修	18人	延べ36日
自主研修	150人	延べ340日

2 職員の勤務成績の評定方法

地方公務員法第40条に基づく職員の勤務成績の評定については、職務・職階ごとの評価シートを用い、複数の評価者による5段階評価の勤務評定を行っています。

第7 職員の福祉及び利益の保護の状況

1 福利厚生制度の状況

職員の共済制度は、地方公務員法第43条に基づいて定められた地方公務員等共済組合法によって具体的に定められています。なお、共済制度を運用し、実施する主体は埼玉県市町村職員共済組合です。

共済組合の事業を運営する費用は、組合員である職員の掛金と使用者である市の負担金によって賄われています。市の負担金の率は法定されており、平成21年度は524,460千円の負担金を支出しました。

また、レクリエーション事業等を実施している職員のための任意の互助組織である職員互助会と委託契約をしています。

2 公務災害の発生状況

公務災害補償制度は、職員が公務上の災害または通勤による災害を受けた場合に、その災害によって生じた損害の補てん(補償)と、被災職員の社会復帰の促進および職員・遺族の援護を図るために必要な事業(福祉事業)を行うことを目的としています。具体的には、地方公務員法第45条に基づいて定められた地方公務員災害補償法によって定められています。

平成21年度に公務災害または通勤災害と認定された件数は、3件(公務災害2件、通勤災害1件)でした。

第8 公平委員会からの報告

1 勤務条件に関する措置の要求の状況

平成21年度は、不服申立て案件はありませんでした。

2 不利益処分に関する不服申立ての状況

平成21年度は、不服申立て案件はありませんでした。

～ この情報に関するお問い合わせは ～

総務課 職員担当

電話 048-594-5508